

活動状況報告書（11月分）

学生留学コース 荒井 恵怜夏

本格的に授業が始まり、学校生活にも慣れてきました。

都市計画の授業では計画されていた二つ目のフィールドワークが天候不良で中止になってしましましたが、座学以外にもコンピューターでの実習作業が始まり、より実践的な内容になってきました。

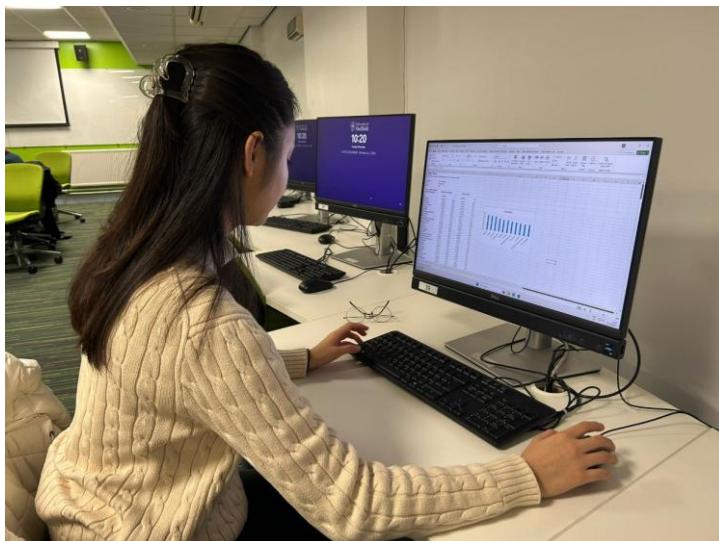
また、もう一つの持続可能性を政策から考える都市計画の授業ではグループワークが本格的に始まり、4・5人のグループで、生徒主体の問題提起から始まり、複数の学術論文や各都市の政策、国際機関から発表されたその都市に関する論文をグループメンバーで手分けして読み込み、ディスカッションを通して次の週に行いたい研究をまた話し合う、ということを行っています。

加えて、大学院生のチューターもつき、グループにアドバイスをしてくれ、それぞれの生徒が主体的に実践的なスキルを身に着けられるような授業構成になっており非常に充実した授業を受けています。

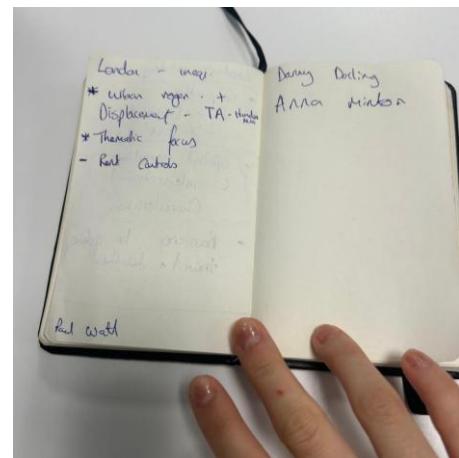
シェフールド大学はサステナビリティをどの学部でも強く意識しているのを感じており、私の帰国後の北海道の地域活性化の目標も、持続可能性を意識することが重要だと感じています。

授業以外ではフラットメイトと私のビジネスの内容について話したり、イギリスの伝統文化を体験して新しい視野や柔軟性を養っています。

残りの授業数が少なくなっていました。最後までいろいろなことを吸収していきます。



GPL104 Cities, places and people の授業での
PC 実習作業で、都市のデータの扱い方を学んでいる



GPL106 Contemporary urban challenge
グループワーク時にもらった
チューターからのフィードバック